資料２

R6.1.22 総合教育会議資料（教育総務課）

パブリックコメント手続結果（案）

１　意見を求めた事項：南相馬市第三次教育振興基本計画（素案）について

２　意見等の募集期間：令和５年１２月１日（金）から１２月２４日（日）まで

３　意　見　等　総　数：　１５件

　　持参・郵送による意見：　３件

　　地域協議会からの意見：１２件（小高区３件、鹿島区５件、原町区４件）

４　パブリックコメントで寄せられた意見と市の考え方

№	意見・質問内容	市の考え方（対応）
1	（原町区地域協議会） 基本目標、学校教育分野の部分に「強みを伸ばし」という表現がありますが、この部分は「強み」というより「個性」ではないでしょうか。	こどもの得意なこと、好きな分野を伸ばし、将来そのような面で大きな飛躍を願うといった考え方に基づいた表現としております。こどもたちにも自分の強みという前向きな捉え方を意識して頂きたいという意味も込めております。
2	（原町区地域協議会） 計画内に報徳仕法の「至誠（まごころ）」についての記述があり、大変良いと思いました。教育委員会では、学校教育において報徳仕法についてどのような対応をしているのでしょうか。	「わたしたちの南相馬市」という副読本を市内小学３年生に、「報徳仕法南相馬市版」という副読本を市内小学４年生に配付するとともに、小中学校別に作成した「報徳仕法のまちづくり」DVD を各学校に配付し活用しています。主に道徳科の時間には至誠学（まごころ学）や郷土愛に関すること、４年生の社会科や各校の総合的な学習の時間においては、地域の特性に応じた報徳仕法について幅広く学習しております。
3	（原町区地域協議会） 素案１５ページの「地域の状況に応じた市内小中学校の適正化の推進」について、「課題」の部分には「今後も保護者や地域との合意形成を図るため丁寧な協議を行い、学校の適正化に取り組む必要がある。」と記載があります。地域の学校を無くすことについての地域との合意形成には、手順とか方針を持って挑むことが大切だと思います。	学校の適正化については、学校の小規模化が進んだため統合するということだけではなく、学校の今後のあり方や子どもたちにとってどのような環境が一番良いのかを地域の皆様と話し合い、ご意見を聞きながら合意形成を図って参ります。

4	（原町区地域協議会） 素案の 57 ページに、「文化遺産サポーターの活動促進」とありますが、文化遺産サポーター数の数値目標や、現状とか将来像とかあれば教えてください。	文化遺産サポーターの目標人数は今回の計画には記載しておりませんが、令和５年度の奥州相馬氏下向７００年にあたり、文化遺産サポーターの方々には、バスツアーや文化遺産の案内などでご活躍いただいております。今後も活躍いただける場を広げていきたいと考えております。
5	（鹿島区地域協議会） 素案の４１ページに「外国語教育、プログラミング教育の推進」と記載があります。鹿島区では外国の方はほとんど見かけませんが、外国の講師の方もいらっしゃるかと思います。その方々はどのようになっていますか。	英語の指導助手はおよそ１校から２校あたりに１名を配置しております。そのうち１名は、市の会計年度任用職員として直接雇用しておりますが、その他につきましては、民間事業所に派遣委託をしております。指導助手の大部分は市内に居住しております。
6	（パブリックコメント） 市内には常駐での指導助手が鹿島に１名とのこと。他は派遣会社にお願いしている。 専任化の推進であれば常駐できる指導助手を増やすべきではないか？ 常駐なら日常生活の中でも子ども達や地域と繋がる機会が増える。機会が増えれば可能性が増えると思う。大事なのは身近にいる事。	グローバル化が急速に進展する社会の中で、こどもたちが自らの人生を切り拓くために必要な資質・能力を育むため、外国語教育は重要な要素の一つと捉えております。このため本市では英語検定受験料支援、教員英語研修、幼稚園・保育園におけるあそびを通じた英語発音学習や小学校でのフォニックス学習などを実施し、外国語教育に重点的に取り組んでおります。 取組の一つである外国語指導助手（ＡＬＴ）の配置は、外国語授業における教員のサポートだけでなく、児童生徒が日常的に外国語を使う機会の確保や外国人と触れ合うことによる外国文化の理解醸成を図ることを目的としています。 さらに、今後は ALT が自らレッスンを企画し授業を行うなどの取組みも進める予定です。

		現在 ALT の配置については、意欲、指導力、在留資格等の適性審査や必要人数の確保等の面から、他自治体への実績がある企業からの派遣という形をとっております。 令和５年度時点ではおよそ１校から２校あたり１名の配置となっていることから、外国語教育充実のため１校あたり１名配置（専任化）を推進したいと考えております。
7	（鹿島区地域協議会） 鹿島中学校で生徒全員が相馬流山踊りの指導を受けたと聞きました。実施は各学校の裁量なのでしょうか。それとも義務なのでしょうか。	各学校においては、地域の方々からその地域に伝わる民俗芸能を習うなど、学校ごとにそれぞれの特色を生かした取組を行っております。 市では、地域の民俗芸能を後世に伝えることの重要性を踏まえ、希望する学校に対し、講師謝礼の支払いなどの支援を行っております。
8	（鹿島区地域協議会） 鹿島区の文化歴史民俗資料等については、震災後に真野小学校や小高区で保管されていましたが、展示はされていません。そういう資料を展示するコーナーとか展示室みたいものをつくる計画があるならお聞きしたいと思います。	現在、市の様々な文化財資料につきましては、博物館や小高区の旧福浦小学校などに分散して保管している状態です。資料の保存と利活用を図るといった上でも、そのような状態を解消し、適切な形で収蔵保存することが大切だと考えております。資料の収蔵と展示・活用について、既存施設の活用も含め、来年度以降に計画を定めるなど博物館を中核として取り組んでまいりたいと考えております。
9	（鹿島区地域協議会） 鹿島区の図書館は、どうしても高齢者にとっては行きづらく、車が無いと行けないという環境にあります。３区それぞれに状況は違うので、それに対応した施策は必要ではないかと思います。	市内には小高図書館・鹿島図書館・中央図書館の３館がありますが、この他に、身近なところで図書館を利用する機会を提供するため、市内各所に移動図書館車を運行する取組みを行っております。鹿

	素案57ページに文化遺産の様々な取組があります。鹿島区にも古墳がありますが、それについての記述がありません。その地域の特徴なり特色があるわけですが、鹿島区は何も載っていないので地域差があるのではないかと感じました。	島区においては、令和５年度は、かしま交流センターや前川原体育館前、すみれデイサービスセンター、西町災害公営住宅など計１２か所を巡回し、ご利用いただいているところであり、今後も状況に応じて巡回先の追加・変更など行いながら事業を継続してまいります。 また、鹿島区の真野古墳群を含め、本市には小高区・鹿島区・原町区それぞれに歴史文化遺産が点在しております。これらの歴史文化遺産と周辺環境を一体的に捉え保存し、ふるさと教育の充実や地域の魅力づくりを進めてまいります。
１０	（鹿島区地域協議会） 素案の15ページにブリティッシュヒルズ研修というのがあります。私の子も参加させていただきましたが、多文化というか外国に興味を持つのにすごく良い課外事業だったなと思います。学校教育の一環として、こういうのが行われるのはすごくありがたいなと思います。	貴重なご意見として、今後の業務の参考とさせていただきます。
１１	（小高区地域協議会） 浮舟文化会館にある、埴谷・島雄記念文学資料館について今回の計画の中に全く入っていません。埴谷・島尾記念文学資料館だけでなく、鈴木安蔵の生家など、小高区には偉大な人物もいますので、そういった痕跡をもっと知らしめるよう検討してほしいと思います。市民の方に協力をお願いするよう発信するとか、アイデアを募集するということも必要かと思います。 また前期計画の中に、小高区の文教ゾーンの活用とか、コミュニティスクールの記載がありましたが、これは今後 4 年間で検討するのか、実施していくのかお聞きしたい。	埴谷・島雄記念文学資料館の各種資料や鈴木安蔵生家などは、文学史や歴史上に名を残す人物にかかる貴重な歴史文化遺産の一つであり、適切に保存するとともに、専門知識のある職員がいなくても何か実施できる形はないか、活用につきまして検討してまいりたいと考えます。 また、文教ゾーンを生かした魅力ある教育や学校と地域が一体となってこども達を育むためのコミュニティスクールについては、次の計画期間では検討だけにとどまらず、実際に取り組んでいきたいと考えております。

１２	（小高区地域協議会） 小中一貫校の検討も必要かなと思っていたのですが、今回の計画にはないようなので、考える組織が別なのでしょうか。	素案の 42 ページ「小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境の整備」の中の具体的な取組例に「小高区の将来の姿を見据えた施設一体型の小中一貫校等の設置検討」と記載しております。
１３	（小高区地域協議会） 今後、産業団地の造成や F-REI などができると、外国人のお子さんも増えてくると思います。今現在、市内に外国人のお子さんはいらっしゃるのでしょうか。また、その子はどこで教育を受けているのですか。	市内にも外国籍の児童生徒がおり、学習支援員などが付き、市内の小中学校でほかの児童生徒と同じ教室で授業を受けております。
１４	（パブリックコメント） 私が一番心配していますのは、いじめによる自死が発生することです。これをいかにしてゼロとするかではないでしょうか。一言で言って治まる問題ではないでしょうが、弱いものに対するからかいや、不幸にも家庭環境不良のためにおこる問題と思っております。この計画書にもありますように早期発見、早期解決まさにそうですが、如何にして（定期的にやっている生徒からのアンケートやその他）やるか、そしてそれが本当に生かされているのかではないでしょうか。計画書内アンケートにもありますように、「からかわれたり、嫌がらせ、いじめなどがない学校」（73 ページ）、「道徳心や思いやりを育み」（74 ページ）、「子どもたちの心身の健康を育む教育」（75 ページ）、「心も体も健康な人～自分の意見や考えをはっきりとしめすことができる人」（77 ページ）は高いグラフ指数を表しています。 私は 80 歳になりましたが、70 年前の小学生（この時はそんなに思いませんでしたが）から、中学生では体が小さいせいでからかいの対象でした。 そのからかう相手は固定化されていましたの	御意見のとおり、こどもたちが学校生活を楽しく過ごし、健やかに成長することができるよう、いじめの未然防止、早期発見、早期解決は非常に重要な取組であります。 そのため、児童生徒からの相談や普段の様子の観察、児童生徒を対象に毎月実施しているいじめに係るアンケート調査結果、Ｈｙｐｅｒ－ＱＵ検査結果などあらゆる機会を通じて兆候をつぶさに捉え、速やかに、かつ丁寧に担任と当事者の話し合いや、場合によっては保護者も交えた話し合いなど、解決に向け対応しております。 また、学校内での生活については担任だけでなく、多くの大人の目で児童生徒のいじめにつながるような行動や小さな変化に気付けるよう、各校に支援員や介助員を配置しております。また、学校外の様子や出来事などについては、保護者から寄せられるいじめに係るアンケートや地域の皆様から得られる情報に対して丁寧に対応をしております。 これらの成果として、令和 4 年度の調

	で、ある時手首を噛んで反撃に出たら 2 度とからかいは無くなりました。今そんなことをしてけがをさせたら大変ですかな？ そのように反撃できない子は、学校に行くのが嫌になるはずです。 日常茶飯事の人間集団における小さなからかいから大きないじめ、さらにはＳＮＳでの抽象などの発見を先生やＰＴＡ、さらに親が早期に発見する方法をいかにするかではないでしょうか。 もしその方々がうまく発見できなければ、市民の協力も大切です。市民協力隊によっていつも行かない場所や、教室での発見や対処に当たる作成はいかがでしょうか。 市民協力隊員選別に当たっては、しっかりとしたマニュアルのもとに、子どもさんたちにやさしい暖かの心で対応できる方を選別しましょう。最低２クラスに１人を目安がよいと思います。またその方々の協力により生徒さんの定期的なアンケートの変化をキャッチして生きた管理が望まれます。アンケートの中身で何かを訴えていることや、アンケートを提出しても意味ないなどとなっていないかなど、推移動向を的確に読み取ることです。 いろいろ記述しましたが、私も市の各委員会に参加しましたが、このことで何かできることがあればお手伝いしたいと思っています。 （最後の一文は、個人に関する情報が含まれているため掲載省略いたします。）	査では、ほとんどのケースでいじめが解消※しております。今後も引き続きいじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けた取組を行ってまいります。 　なお、前述の取組のほか、各学校には、地域の皆様､学校関係者で構成される｢学校いじめ防止対策連絡協議会」がございますので、ご提案頂いた市民協力隊のような組織づくりについては各学校にご相談頂けますとありがたく存じます。 ※いじめの解消 　いじめと認知した事案について解消に向け話合いや指導などを行った結果、「いじめに係る行為が解消している（少なくとも 3 カ月）」「被害児童生徒が心身の苦痛を感じていない」状態。
１５	（パブリックコメント） YouTube｢生涯学習チャンネル」を検索しても出てこないが一体何なのか。 YouTube｢生涯学習チャンネル」再生回数とあるが、これは年間の再生回数なのか。 図書館の入館者数とあるが、これは年間の入館者数なのか。 博物館の利用者数とあるが、これは年間の利用者数なのか。	「生涯学習チャンネル」と検索すると、過去に本市の「生涯学習チャンネル」を見たことが無い場合、他の自治体動画が検索結果の上位として表示される場合があります。その場合、検索ワードに「南相馬」を追加いただくと本市の生涯学習チャンネルが表示されます。

	P58 **目標値の数値が現状値の8倍となっているが、コロナ渦の影響なのか。**	**「生涯学習チャンネル」再生回数、図書館入館者数、博物館利用者数ともに年度（４月～３月）の目標人数・回数となっております。** **素案５８ページの「民俗芸能発表会観覧者数」の目標値については、コロナ禍により減少した観覧者数を、コロナ禍前（令和元年度）の水準まで回復させることを目標としております。**